

令和5年度 第2回学校運営協議会 議事録

日時	令和5年12月12日（火）10時～11時30分
場所	東須磨小学校 多目的室
出席者	[学校] 校長、教頭、総務担当教員、議事担当教員2名 [委員] 善本、杉田、佐藤、和田、加古、谷川、横手 [オブザーバー] 3名欠席 [傍聴] 4名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 挨拶 会長より 2. 報告・協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 【学校より】 <ol style="list-style-type: none"> 2.1. 追加委員紹介 2.2. お助け隊について 2.3. 夏休みの宿題と2学期の始め方 2.4. 資源回収について調べて報告する会（4年生） 2.5. 「ひがしすまのきまり」の見直し 2.6. メダカを活用した学習について 2.7. 全国学力状況調査結果より 【委員より】 <ol style="list-style-type: none"> 2.8. 保護者の会より 2.9. ママカフェ 2.10. 夏休みの学びと体験PJ 2.11. CS ホームページ、CS 通信 2.12. 避難所開設防災訓練実施の提案（防コミ主催） 2.13. ワイワイ会議 2.14. 飛び出し坊やの老朽化対策 3. 今後の予定 4. 非公開議事
議事録	
1 挨拶 会長より	<p>日頃から先生方や委員の皆様には、さまざまなお意見を頂き、できることはすぐに実行してきました。学校運営協議会は、学校と地域が一体となって子供たちの教育を支援するための重要な場であり、今後も皆様のご意見を頂きながら、子供たちのより良い教育環境の実現に努めていきたい。</p>
2 報告・協議事項	<p>【学校より】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2.1 追加委員紹介 校長より <p>昨年度 PTA が解散し今年度暫定的に保護者の会としてやってきて、コミュニティ・スク</p>

ールという全国的な大きな流れの中で、学校運営協議会により多くの保護者の参画を頂くことが望ましいと考え、保護者の会副会長である横手さんに参画をお願いした。

2.2 お助け隊について（別紙：CS お助け隊 実績報告 申請書様式）

本当にたくさんの保護者の方、地域の方のご協力を頂いて、子供たちが豊かに学習を進めることができた。教員にとってもすごく心強いサポーターとして、いろんな指導がしやすくなり、目が行き届かないところも助けて頂いた。

今後も登録者を増やしたいが、セキュリティ面を考慮し、保護者以外の地域の方の場合は一度学校に来て申請書を出して頂き名札と交換する形とする。

お助け隊の発信先が、保護者を含む場合と地域の方のみの場合と、内容によって変えていたが、学校の CS お助け隊を活用する趣旨がうまく伝わっていない面があったので、今年度中に、登録方法と合わせて発信していきたい。

2.3 夏休みの宿題と2学期の始め方

今年度、教育委員会からの通達で、夏休みの子供たちに出す課題について、最近の物価高騰もあり、これまでドリルを購入していたものをなくしてタブレットドリルの活用をすることになった。

また子供たちが与えられる宿題ではなく、今自分がこういうのが苦手だからこういうことを頑張りたいとか、40日ある中でできる自由研究を考えたいとか、自分で目当てをもって計画的にできるように職員で話し合った。自由に選べるような選択肢を出しつつ、いろいろ試行錯誤しながら今年度は進めていった。来年度以降もそういう方向性で考えている。

文科省が4年生以上では年間1015時間の授業時間を定めているが、神戸は学級閉鎖などがあっても足りなくならないよう余裕を見て1090時間ぐらい取っていた。しかし文科省から全国一律多くても1050時間までに減らすよう通知があり、本校では暑い夏の負担をまず減らすために1学期末の短縮授業、8月末の夏季授業日の短縮、2学期夏休み明けの短縮授業の実施を行った。2学期のゆるやかなスタートにより、子供たち全体の学校での表情がたいへん良かった。

2.4 資源回収について調べて報告する会（別紙：調べて話そう、生活調査隊）

4年生で1学期ゴミの学習を毎年行うが、3学期にある「調べて話す生活調査隊」という単元と絡めて、自分たちの地域のことについて、このゴミについて学んだことを調べて、地域の方保護者の方に発信していくという取り組みを提案したい。

資源回収という事業について学んでいくことで、子供たちも当事者意識が生まれ、それを保護者の方や地域の方にも発信することで、こうした取り組みが持続可能な取り組みになっていくように、学習の中に組み込んでいくことを計画している。

2.5 「ひがしすまのきまり」の見直し（別紙：ひがしすまのきまり R5改訂）

見直しの対象は、授業中の挨拶、放課後の帰宅時間、自転車のヘルメット着用、メッセージ等の送信、道路でのローラースケート等の遊びの5点。

- ① 授業中の挨拶については、高学年では挨拶をせずとも授業が進むことが増えていることから、挨拶の表記を削除することとなった。
- ② 放課後の帰宅時間については、暗くなる前に帰るという曖昧な表記を、保護者と約束をした時間に帰るようにするという明確な表記に変更することとなった。
- ③ 自転車のヘルメット着用については、努力義務となったことから、教職員も着用するなどして、子供たちにも着用を呼びかけるようにすることとなった。
- ④ メッセージの送信については、画像、動画を含めて人を傷つけるようなものは送らないという表記をすることとなった。
- ⑤ 道路でのローラースケートやブレイブボードの遊びについては、保護者と確認して車や人の行き来が多い場所では遊ばないようにすることとした。

学習規律については、代表委員の子供たちが意見を出し、蛍光ペンの数を5年生も2本に増やすこと、6年生は色付きの蛍光ペンも使えるようにすることなどが検討されている。

2.6 メダカを活用した学習について（別紙：メダカ学習計画）

今年度、地域住民のSさんからメダカを寄贈された。5年生でメダカの学習を行う予定だが、1学期には学習が終わってしまうため、3学期に地域の状況やSさんからの話を踏まえて、メダカの学習を行う予定である。

- メダカが生息している場所と生息していない場所の違いについて、地域の状況を踏まえて科学的に考える。
- メダカの育て方をSさんから学び、自分でメダカを育てる。

来年度は、各クラスに60センチの水槽が設置される予定である。これを活用して、Sさんからメダカの育て方を学び、命の大切さについても学習する予定である。

2.7 全国学力状況調査結果より

6年生では、自分の考えを伝えるための表現方法や理由・立場の明確化に課題が見られた。算数では、複数のグラフを読み取って解くというところに課題が見られた。

5年生では、文章から中心となる言葉を見つけて要約する力や、登場人物の心情を読み取ってそれを表現する力は定着しているが、小数の式や概数の求め方など、いわゆる知識の部分の定着に課題が見られた。

4年生では、自分の考えをはっきりさせた文章を書く力と、図形を使った応用問題の理解に課題が見られた。

全体的に子供たちは四則演算の能力を持っており、学習の積み上げが確実に行われている。

保護者・地域の皆様のご協力により放課後学習を行っているが、子供たちが次の学年にス

ムーズに進むための基盤を築くために大変助かっている。引き続きご協力をお願いしたい。

【委員より】

2.8 保護者の会より

保護者の会が今年度いっばいで一旦解散するため残務整理中であるが、特に資源リサイクル活動については、学校運営協議会 **準備委員会**で相談し、新たに「CSリサイクル部」という組織を立ち上げ、その活動と資金の管理を引き継いでやっていくこととなった。

資源リサイクル活動の継続方法として、ステーション付近の住民がそのステーションを見守り、ゴミの積み残しがあれば公式 LINE へ報告する形を提案する。公式 LINE アカウントを設け、地域の人々に登録をお願いし、積み残しがあった場合に報告を受けるシステムを構築していきたい。毎年ステーション担当を保護者に募集する必要がなく地域と一緒に支える持続可能な形だと考えている。この LINE アカウントを通じて、収益が子供たちにもどのように使われているかなどの情報も発信していきたい。年明けからチラシを用意して登録者を増やすよう告知をしていきたい。

PTA 会費の残金の使い道についてアンケートを実施し、その結果を基に冷水器の設置と図書室の本の購入を行った。また、学校と相談の結果グランドピアノの老朽化が問題となっており、**PTA 会費残金および資源リサイクル残金の一部から新しいグランドピアノの購入**を検討している。

地域連携の事務局を PTA が担っていたが、今後事務的な支援ができなくなるため、マナビィの活動について今後は各活動での自主運営をお願いしており、須磨太鼓については継続が決定したが他の活動については難しい旨の回答を頂いている。

2.9 ママカフェ

7 月にロータリークラブからの支援も受け開催したが、現在はいったん今後の在り方を見直すために休止中である。今後の予定が決まれば報告する。

2.10 夏休みの学びと体験プロジェクト（別紙：夏休みの学びと体験プロジェクト実施報告書）

地域有志の協力を得て 4 つのイベントを開催した。子供たちと保護者から「とても良い体験ができた」、講師の方、お助け隊の方から「やって良かった」という声を頂いているので、来年度も可能なら実施したいと考えている。

2.11 CS ホームページ、CS 通信

10 月より学校ホームページとリンクして正式に稼働した。子供の写真はセキュリティポリシー上載せられない。CS 通信は随時情報を発信していきたい。

2.12 避難所開設防災訓練実施の提案（**防災福祉コミュニティ**主催）

地域より提案があつて検討したが、区役所から東須磨ではできないという返答があつた。理由はスタッフだけでも 20~30 人必要なため、今年は準備が間に合わない。12 月 3 日に白川小学校で訓練があり見学に行ったが、いざという時に何十人もがばっと動こうと思つたら相当訓練をしないといけないと感じた。また学校の備蓄リストについても確認が必要、実際に顔を合わせての訓練が必要と感じた。

2.13 ワイワイ会議

10 月 23 日に実施し、参加者は少なかったが、付箋に問題点を書き入れていただいて、そのテーマごとに話し合ったという新しい試みで行つた。議事録をホームページに公開している。できれば 3 学期にもう一度開催したい。

2.14 飛び出し坊やの老朽化対策

公的機関との連携、保険についての確認、設置元の保護者の会（元 PTA）からの今後の体制、費用の面を考慮して対応を検討し今年度中には結論を出していきたい。

3 今後の予定

3.1 児童との懇談会（別紙：児童・保護者との懇談会に向けて）

児童は運営協議会のことを知らないため、12 月 4 日の朝会で運営協議会委員がテレビに出て挨拶し、授業を回って全校生徒に紹介した。

代表委員会児童からの学校の困りごとや改善してほしいことなどについて話し合う。

3.2 3/5（火）第 3 回協議会を予定。

4 非公開議事

※2024 年 1 月 29 日修正版にて議事録を再掲載